

水道事業ガイドライン(JWWA Q 100)に基づく業務指標(年度別)

安心：すべての国民が安心しておいしく飲める水道水の供給

指標の



数値が大きいほうが良い

見方



数値が小さいほうが良い

a 水資源の保全

コード	項目	定義(式)	単位	指標の見方	指標値 平成25年度	指標値 平成24年度	指標値 平成23年度	指標値 平成22年度	指標値 平成21年度
1001	水源利用率	$(\text{一日平均配水量} / \text{確保している水源水量}) \times 100$	%	↑	61.7	59.9	60.5	61.9	64.5
1002	水源余裕率	$[(\text{確保している水源水量} / \text{一日最大配水量}) - 1] \times 100$	%	↑	47.7	51.7	48.7	43.2	40.5
1003	原水有効利用率	$(\text{年間有効水量} / \text{年間取水量}) \times 100$	%	↑	92.5	92.4	92.4	92.3	92.2
1004	自己保有水源率	$(\text{自己保有水源水量} / \text{全水源水量}) \times 100$	%	↑	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
1005	取水量1m ³ 当たり 水源保全投資額	水源保全に投資した費用/その流域からの取水量	円/m ³	↑	0.50	0.57	0.56	0.55	0.55

安心：すべての国民が安心しておいしく飲める水道水の供給

b 水源から給水栓までの水質管理

コード	項目	定義 (式)	単位	指標の見方	指標値 平成25年度	指標値 平成24年度	指標値 平成23年度	指標値 平成22年度	指標値 平成21年度
1101	原水水質監視度	原水水質監視項目数	項目	↑	64	64	65	65	66
1102	水質検査箇所密度	(水質検査採水箇所数/給水区域面積)×100	箇所/100Km ²	↑	21.7	27.0	27.0	27.0	26.3
1103	連続自動水質監視度	(連続自動水質監視装置設置数/一日平均配水量)×1,000	台/(1,000m ³ /日)	↑	0.166	0.165	0.164	0.160	0.130
1104	水質基準不適合率	(水質基準不適合回数/全検査回数)×100	%	↓	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
1105	カビ臭から見た おいしい水達成率	[(1-ジェオスミン最大濃度/水質基準値)+(1-2メチルイソホルネオール最大濃度/水質基準値)]/2×100	%	↑	90	90	90	90	100
1106	塩素臭から見た おいしい水達成率	[1-(年間残留塩素最大濃度-残留塩素水質管理目標値)/残留塩素水質管理目標値]×100	%	↑	60	45	50	55	73
1107	総トリハロメタン濃度水質基準比	(総トリハロメタン最大濃度/総トリハロメタン濃度水質基準値)×100	%	↓	43	53	47	21	27
1108	有機物(TOC)濃度水質基準比	(有機物最大濃度/有機物水質基準値)×100	%	↓	23	23	20	20	20
1109	農薬濃度水質管理目標比	$\Sigma (xi/Xi)/n \times 100$ xi: 各農薬の給水栓での年間測定最大濃度 Xi: 各農薬の管理目標値 n: 水道事業者の水質検査計画書に記載の農薬の数	%	↓	0.143	0.000	0.000	0.000	—
1110	重金属濃度水質基準比	$\Sigma (xi/Xi)/6 \times 100$ xi: 各重金属の給水栓での年間測定最大濃度 Xi: 各重金属の水質基準値	%	↓	3	5	8	10	7
1111	無機物質濃度水質基準比	$\Sigma (xi/Xi)/6 \times 100$ xi: 各無機物質の給水栓での年間測定最大濃度 Xi: 各無機物質の水質基準値	%	↓	23	31	28	28	30
1112	有機物質濃度水質基準比	$\Sigma (xi/Xi)/4 \times 100$ xi: 各有機物質の給水栓での年間測定最大濃度 Xi: 各有機物質の水質基準値	%	↓	6	5	4	5	6
1113	有機塩素化学物質濃度水質基準比(%)	$\Sigma (xi/Xi)/9 \times 100$ xi: 各有機塩素化学物質の給水栓での年間測定最大濃度 Xi: 各有機塩素化学物質の水質基準値	%	↓	0	0	0	0	0
1114	消毒副生成物濃度水質基準比(%)	$\Sigma (xi/Xi)/5 \times 100$ xi: 各消毒副生成物の給水栓での年間測定最大濃度 Xi: 各消毒副生成物の管理目標値	%	↓	3	3	3	4	3
1115	直結給水率	(直結給水件数/給水件数)×100	%	↑	79.1	79.0	79.3	80.1	69.0
1116	活性炭投入率	(年間活性炭投入日数/年間日数)×100	%	↓	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
1117	鉛製給水管率	(鉛製給水管使用件数/給水件数)×100	%	↓	18.8	20.0	21.2	22.3	23.2

安定：いつでもどこでも安定的に生活用水を確保

a連続した水道水の供給

コード	項目	定義 (式)	単位	指標の見方	指標値 平成25年度	指標値 平成24年度	指標値 平成23年度	指標値 平成22年度	指標値 平成21年度
2001	給水人口一人当たり貯留飲料水量	$[(\text{配水池総容量}(\text{緊急貯水槽容量は除く}) \times 1/2 + \text{緊急貯水槽容量}) / \text{給水人口}] \times 1,000$	ℓ/人	↑	140	137	144	145	135
2002	給水人口一人当たり配水量	$(\text{一日平均配水量} / \text{給水人口}) \times 1,000$	ℓ/人		329	330	331	339	338
2003	浄水予備力確保率	$[(\text{全浄水施設能力} - \text{一日最大浄水量}) / \text{全浄水施設能力}] \times 100$	%	↑	31.9	32.9	31.7	29.1	30.4
2004	配水池貯留能力	配水池総容量/一日平均配水量	日	↑	0.83	0.81	0.85	0.84	0.78
2005	給水制限数	年間給水制限日数	日	↓	0	0	0	0	0
2006	普及率	$(\text{給水人口} / \text{給水区域内人口}) \times 100$	%	↑	99.3	99.3	99.3	99.2	99.6
2007	配水管延長密度	配水管延長/給水区域面積	km/km ²	↑	15.7	15.6	15.5	15.4	15.3
2008	水道メータ密度	水道メータ数/配水管延長	個/km		134	159	158	157	156

b将来への備え

コード	項目	定義 (式)	単位	指標の見方	指標値 平成25年度	指標値 平成24年度	指標値 平成23年度	指標値 平成22年度	指標値 平成21年度
2101	経年化浄水施設率	$(\text{法定耐用年数を超えた浄水施設能力} / \text{全浄水施設能力}) \times 100$	%	↓	2.8	4.0	4.0	4.0	10.0
2102	経年化設備率	$(\text{経年化年数を超えている電気・機械設備数} / \text{電気・機械設備の総数}) \times 100$	%	↓	24.0	10.5	16.9	17.8	19.2
2103	経年化管路率	$(\text{法定耐用年数を超えた管路延長} / \text{管路総延長}) \times 100$	%	↓	22.1	20.6	19.5	19.1	18.9
2104	管路の更新率	$(\text{更新された管路延長} / \text{管路総延長}) \times 100$	%	↑	0.63	0.51	0.44	0.32	0.53
2105	管路の更生率	$(\text{更生された管路延長} / \text{管路総延長}) \times 100$	%	↑	0.000	0.000	0.000	0.000	0.0
2106	バルブの更新率	$(\text{更新されたバルブ数} / \text{バルブ設置数}) \times 100$	%	↑	0.75	0.67	0.50	0.40	0.56
2107	管路の新設率	$(\text{新設管路延長} / \text{管路総延長}) \times 100$	%		0.55	0.71	0.72	0.52	0.65

安定：いつでもどこでも安定的に生活用水を確保

c リスクの管理

コード	項目	定義 (式)	単位	指標の見方	指標値 平成25年度	指標値 平成24年度	指標値 平成23年度	指標値 平成22年度	指標値 平成21年度
2201	水源の水質事故数	年間水源水質事故件数	件	↓	0	0	0	0	0
2202	幹線管路の事故割合	(幹線管路の事故件数/幹線管路延長)×100	件/100km	↓	0.3	0.7	0.0	0.0	0.8
2203	事故時配水量率	(事故時配水量/一日平均配水量)×100	%	↑	117.6	120.6	119.5	116.9	116.4
2204	事故時給水人口率	(事故時給水人口/給水人口)×100	%	↓	27.0	27.0	26.8	27.8	26.7
2205	給水拠点密度	(配水池・緊急貯水槽数/給水区域面積)×100	箇所/100km ²	↑	50.0	48.7	46.7	47.4	46.7
2206	系統間の原水融通率	(原水融通能力/受水側浄水能力)×100	%	↑	10.2	15.0	15.0	15.0	15.0
2207	浄水施設耐震率	(耐震対策の施されている浄水施設能力/全浄水施設能力)×100	%	↑	34.5	29.7	29.7	29.7	29.7
2208	ポンプ所耐震施設率	(耐震対策の施されているポンプ所能力/全ポンプ所能力)×100	%	↑	33.6	27.1	27.1	27.1	27.2
2209	配水池耐震施設率	(耐震対策の施されている配水池容量/配水池総容量)×100	%	↑	29.6	29.1	26.4	29.1	28.2
2210	管路の耐震化率	(耐震管延長/管路総延長)×100	%	↑	17.7	16.6	15.4	14.4	13.6
2211	薬品備蓄日数	平均薬品貯蔵量/一日平均使用量	日		19.9	19.1	23.7	24.9	19.3
2212	燃料備蓄日数	平均燃料貯蔵量/一日使用量	日	↑	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4
2213	給水車保有度	(給水車数/給水人口)×1,000	台/1,000人	↑	0.0101	0.0100	0.0086	0.0086	0.01
2214	可搬ポリタンク・ポリパック保有度	(可搬ポリタンク・ポリパック数/給水人口)×1,000	m ³ /1,000人	↑	12.2	12.3	12.4	11.5	11.4
2215	車載用の給水タンク保有度	(車載用給水タンクの総容量/給水人口)×1,000	m ³ /1,000人	↑	0.092	0.095	0.089	0.089	0.09
2216	自家用発電設備容量率	(自家用発電設備容量/当該設備の電力総容量)×100	%	↑	55.2	55.1	55.0	54.6	54.8
2217	警報付施設率	(警報付施設数/全施設数)×100	%	↑	56.5	60.6	60.6	60.6	60.6
2218	給水装置の凍結発生率	(給水装置の年間凍結件数/給水件数)×1,000	件/1,000件	↓	0.0	0.0	0.2	0.0	0.00

持続：いつまでも安心できる水を安定して供給

a 地域特性にあった運営基盤の強化

コード	項目	定義(式)	単位	指標の見方	指標値 平成25年度	指標値 平成24年度	指標値 平成23年度	指標値 平成22年度	指標値 平成21年度
3001	営業収支比率	$(\text{営業収益}/\text{営業費用}) \times 100$	%	↑	122.2	126.6	129.5	134.3	133.3
3002	経常収支比率	$[(\text{営業収益}+\text{営業外収益})/(\text{営業費用}+\text{営業外費用})] \times 100$	%	↑	109.8	113.2	109.0	112.3	111.0
3003	総収支比率	$(\text{総収益}/\text{総費用}) \times 100$	%	↑	108.1	113.2	109.0	112.3	111.0
3004	累積欠損金比率	$[\text{累積欠損金}/(\text{営業収益}-\text{受託工事収益})] \times 100$	%	↓	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
3005	繰入金比率(収益的収支分)	$(\text{損益勘定繰入金}/\text{収益的収入}) \times 100$	%	↓	0.2	0.1	0.2	0.0	0.0
3006	繰入金比率(資本的収入分)	$(\text{資本勘定繰入金}/\text{資本的収入}) \times 100$	%	↓	0.7	0.0	1.3	0.0	0.2
3007	職員一人当たり給水収益	$(\text{給水収益}/\text{損益勘定所属職員数}) \times 1,000$	千円/人	↑	58,967	58,499	58,150	60,593	60,816
3008	給水収益に対する職員給与費の割合	$(\text{職員給与費}/\text{給水収益}) \times 100$	%	↓	14.3	14.6	14.9	14.7	15.1
3009	給水収益に対する企業債利息の割合	$(\text{企業債利息}/\text{給水収益}) \times 100$	%	↓	9.9	10.1	10.2	10.2	10.4
3010	給水収益に対する減価償却費の割合	$(\text{減価償却費}/\text{給水収益}) \times 100$	%	↓	28.4	28.2	27.5	26.5	26.0
3011	給水収益に対する企業債償還金の割合	$(\text{企業債償還金}/\text{給水収益}) \times 100$	%	↓	22.2	22.0	21.8	22.1	22.4
3012	給水収益に対する企業債残高の割合	$(\text{企業債残高}/\text{給水収益}) \times 100$	%	↓	426.6	419.4	407.8	396.5	399.8
3013	料金回収率	$(\text{供給単価}/\text{給水原価}) \times 100$	%	↑	108.8	112.0	107.8	111.5	110.0
3014	供給単価	給水収益/有収水量	円/m ³	↓	127.8	128.0	128.2	128.7	128.9

3015	給水原価	[経常費用-(受託工事費+材料及び不用品売却原価+附帯事業費)]/有収水量	円/m ³	↓	117.5	114.3	118.9	115.5	117.2
3016	1箇月当たり家庭用料金(10m ³)	1箇月当たりの一般家庭用(口径13mm)の基本料金+10m ³ 使用時の従量料金	円	↓	1,029	1,029	1,029	1,029	1,029
3017	1箇月当たり家庭用料金(20m ³)	1箇月当たりの一般家庭用(口径13mm)の基本料金+20m ³ 使用時の従量料金	円	↓	2,153	2,153	2,153	2,153	2,153
3018	有収率	(有収水量/給水量)×100	%	↑	88.4	88.3	88.2	88.1	88.1
3019	施設利用率	(一日平均給水量/一日給水能力)×100	%	↑	62.1	60.9	61.5	62.9	63.1
3020	施設最大稼働率	(一日最大給水量/一日給水能力)×100	%	↑	68.1	67.1	68.3	70.9	69.6
3021	負荷率	(一日平均給水量/一日最大給水量)×100	%	↑	91.2	90.8	90.0	88.6	90.6
3022	流動比率	(流動資産/流動負債)×100	%	↑	705.0	915.6	780.4	1,112.6	992.1
3023	自己資本構成比率	[(自己資本金+剰余金)/負債・資本合計]×100	%	↑	57.3	57.5	57.1	56.9	55.9
3024	固定比率	[固定資産/(自己資本金+剰余金)]×100	%	↓	148.2	145.8	145.3	146.1	150.0
3025	企業債償還元金対減価償却費比率	(企業債償還元金/当年度減価償却費)×100	%	↓	78.4	78.0	79.2	83.6	86.5
3026	固定資産回転率	(営業収益-受託工事収益)/[(期首固定資産+期末固定資産)/2]	回	↑	0.11	0.11	0.12	0.12	0.12
3027	固定資産使用効率	(給水量/有形固定資産)×10000	m ³ /10,000円	↑	9.3	9.6	10.0	10.5	10.6

持続：いつまでも安心できる水を安定して供給

b 水道文化・技術の継承と発展

コード	項目	定義 (式)	単位	指標の見方	指標値 平成25年度	指標値 平成24年度	指標値 平成23年度	指標値 平成22年度	指標値 平成21年度
3101	職員資格取得度	職員が取得している法定資格数/全職員数	件/人	↑	1.35	1.39	1.52	1.38	1.51
3102	民間資格取得度	職員が取得している民間資格取得数/全職員数	件/人	↑	0.019	0.019	0.062	0.081	0.08
3103	外部研修時間	(職員が外部研修を受けた時間・人数)/全職員数	時間/人	↑	4.6	5.3	5.1	4.9	4.9
3104	内部研修時間	(職員が内部研修を受けた時間・人数)/全職員数	時間/人	↑	5.1	4.7	5.2	8.5	10.1
3105	技術職員率	(技術職員総数/全職員数)×100	%		56.5	55.6	54.0	53.1	52.1
3106	水道業務経験年数度	全職員の水道業務経験年数/全職員数	年/人	↑	7.3	7.1	7.5	8.1	8.2
3107	技術開発職員率	(技術開発業務従事職員数/全職員数)×100	%		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
3108	技術開発費率	(技術開発費/給水収益)×100	%		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
3109	職員一人当たり配水量	年間配水量/全職員数	m ³ /人	↑	518,755	524,090	527,077	541,000	532,143
3110	職員一人当たりメータ数	水道メータ数/全職員数	個/人	↑	1,980	2,352	2,311	2,299	2,227
3111	公傷率	[(公傷で休務した延べ人・日数)/(全職員数×年間公務日数)] ×100	%	↓	0.048	0.000	0.000	0.000	0.000
3112	直接飲用率	(直接飲用回答数/直接飲用アンケート回数)×100	%	↑	-	-	-	-	-

持続：いつまでも安心できる水を安定して供給

c 消費者ニーズをふまえた給水サービスの充実

コード	項目	定義 (式)	単位	指標の見方	指標値 平成25年度	指標値 平成24年度	指標値 平成23年度	指標値 平成22年度	指標値 平成21年度
3201	水道事業に係る情報の提供度	広報誌配布部数/給水件数	部/件	↑	2.7	1.8	1.8	1.8	1.8
3202	モニタ割合	(モニタ人数/給水人口)×1,000	人/1,000人	↑	0.128	0.029	0.029	0.029	0.03
3203	アンケート情報収集割合	(アンケート回答数/給水人口)×1,000	人/1,000人	↑	0.37	0.22	0.03	0.14	0.14
3204	水道施設見学者割合	(見学者数/給水人口)×1,000	人/1,000人	↑	4.2	5.4	4.0	4.2	6.1
3205	水道サービスに対する苦情割合	(水道サービス苦情件数/給水件数)×1,000	件/1,000件	↓	-	-	-	-	-
3206	水質に対する苦情割合	(水質苦情件数/給水件数)×1,000	件/1,000件	↓	0.13	0.14	0.11	0.17	0.21
3207	水道料金に対する苦情割合	(水道料金苦情件数/給水件数)×1,000	件/1,000件	↓	-	-	-	-	-
3208	監査請求数	年間監査請求件数	件		0	0	0	0	0
3209	情報開示請求数	年間情報開示請求件数	件		196	156	163	51	22
3210	職員一人当たり受付件数	受付件数/全職員数	件/人	↑	515	2,103	2,176	2,056	1,943

環境：環境保全への貢献

a 地球温暖化防止や環境保全などの推進

コード	項目	定義 (式)	単位	指標の見方	指標値 平成25年度	指標値 平成24年度	指標値 平成23年度	指標値 平成22年度	指標値 平成21年度
4001	配水量1m ³ 当たり電力消費量	全施設の電力使用量/年間配水量	kWh/m ³	↓	0.40	0.39	0.37	0.39	0.39
4002	配水量1m ³ 当たり消費エネルギー	全施設での総エネルギー消費量/年間配水量	MJ/m ³	↓	1.46	1.09	1.37	1.41	1.43
4003	再生可能エネルギー利用率	(再生可能エネルギー設備の電力使用量/全施設の電力使用量)×100	%	↑	0.21	0.17	0.12	0.12	0.08
4004	浄水発生土の有効利用率	(有効利用土量/浄水発生土量)×100	%	↑	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
4005	建設副産物のリサイクル率	(リサイクルされた建設副産物量/建設副産物排出量)×100	%	↑	96.3	95.8	95.9	96.0	94.7
4006	配水量1m ³ 当たり二酸化炭素(CO ₂)排出量	[総二酸化炭素(CO ₂)排出量/年間配水量]×10 ⁶	g・CO ₂ /m ³	↓	208	156	178	185	179

b 健全な水循環

コード	項目	定義 (式)	単位	指標の見方	指標値 平成25年度	指標値 平成24年度	指標値 平成23年度	指標値 平成22年度	指標値 平成21年度
4101	地下水率	(地下水揚水量/水源利用水量)×100	%		67.0	67.7	66.7	65.3	64.8

管理：水道システムの適正な実行・業務運営及び維持管理

a 適正な実行・業務運営

コード	項目	定義 (式)	単位	指標の見方	指標値 平成25年度	指標値 平成24年度	指標値 平成23年度	指標値 平成22年度	指標値 平成21年度
5001	給水圧不適正率	$[\text{適正な範囲になかった圧力測定箇所・日数} / (\text{圧力測定箇所総数} \times \text{年間日数})] \times 100$	%	↓	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
5002	配水池清掃実施率	$[\text{最近5年間に清掃した配水池容量} / (\text{配水池総容量} / 5)] \times 100$	%	↑	394	377	333	340	225
5003	年間ポンプ平均稼働率	$[\text{ポンプ運転時間の合計} / (\text{ポンプ総台数} \times \text{年間日数} \times 24)] \times 100$	%		30.0	29.7	30.1	29.0	27.1
5004	検針誤り割合	$(\text{誤検針件数} / \text{検針総件数}) \times 1,000$	件/1,000件	↓	0.02	0.01	0.02	0.02	0.02
5005	料金請求誤り割合	$(\text{誤料金請求件数} / \text{料金請求総件数}) \times 1,000$	件/1,000件	↓	0.04	0.05	0.05	0.04	0.07
5006	料金未納率	$(\text{年度末未納料金総額} / \text{総料金収入額}) \times 100$	%	↓	3.0	3.1	2.9	3.3	3.1
5007	給水停止割合	$(\text{給水停止件数} / \text{給水件数}) \times 1,000$	件/1,000件		15.4	18.5	21.1	21.6	20.4
5008	検針委託率	$(\text{委託した水道メータ数} / \text{水道メータ数}) \times 100$	%	↑	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
5009	浄水場第三者委託率	$(\text{第三者委託した浄水場能力} / \text{全浄水場能力}) \times 100$	%		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

管理：水道システムの適正な実行・業務運営及び維持管理

b 適正な維持管理

コード	項目	定義 (式)	単位	指標の見方	指標値 平成25年度	指標値 平成24年度	指標値 平成23年度	指標値 平成22年度	指標値 平成21年度
5101	浄水場事故割合	10年間の浄水場停止事故件数/浄水場総数	10年間の件数/箇所	↓	2.0	1.9	2.5	2.5	2.5
5102	ダクタイル鋳鉄管・鋼管率	$[(ダクタイル鋳鉄管延長+鋼管延長)/管路総延長] \times 100$	%	↑	78.8	78.4	78.2	77.9	77.6
5103	管路の事故割合	$(管路の事故件数/管路総延長) \times 100$	件/100km	↓	2.2	2.0	2.4	2.8	2.5
5104	鉄製管路の事故割合	$(鉄製管路の事故件数/鉄製管路総延長) \times 100$	件/100km	↓	2.2	2.2	2.6	3.0	2.7
5105	非鉄製管路の事故割合	$(非鉄製管路の事故件数/非鉄製管路総延長) \times 100$	件/100km	↓	1.5	0.0	0.0	0.0	0.0
5106	給水管の事故割合	$(給水管の事故件数/給水管件数) \times 1,000$	件/1,000件	↓	4.2	3.8	4.0	4.8	4.4
5107	漏水率	$(年間漏水量/年間配水量) \times 100$	%	↓	4.5	4.8	4.8	4.8	4.8
5108	給水件数当たり漏水量	年間漏水量/給水件数	m ³ /年/件	↓	13.1	14.1	14.4	14.8	15.0
5109	断水・濁水時間	$(断水・濁水時間 \times 断水・濁水区域給水人口) / 給水人口$	時間	↓	0.01	0.03	0.07	0.01	0.00
5110	設備点検実施率	$(電気・計装・機械設備等の点検回数/電気・計装・機械設備の法定点検回数) \times 100$	%	↑	1,706	3,300	3,294	3,811	2,338
5111	管路点検率	$(点検した管路延長/管路総延長) \times 100$	%	↑	64	46	46	59	50
5112	バルブ設置密度	バルブ設置数/管路総延長	基/km	↑	18.2	18.2	18.3	17.9	18.0
5113	消火栓点検率	$(点検した消火栓数/消火栓数) \times 100$	%	↑	-	-	-	-	-
5114	消火栓設置密度	消火栓数/配水管延長	基/km	↑	4.9	4.9	4.9	4.9	4.9
5115	貯水槽水道指導率	$(貯水槽水道指導件数/貯水槽水道総数) \times 100$	%	↑	5.5	1.5	5.8	57.6	29.0

国際：我が国の経験の海外移転による国際貢献

a 技術の移転

コード	項目	定義 (式)	単位	指標の見方	指標値 平成25年度	指標値 平成24年度	指標値 平成23年度	指標値 平成22年度	指標値 平成21年度
6001	国際技術等協力度	人的技術等協力者数×滞在週数	人・週	↑	0	0	0	0	0

b 国際機関・諸国との交流

コード	項目	定義 (式)	単位	指標の見方	指標値 平成25年度	指標値 平成24年度	指標値 平成23年度	指標値 平成22年度	指標値 平成21年度
6101	国際交流数	年間人的交流件数	件	↑	0	0	0	0	0